

## 釜利谷フェスティバル

12月10日（土）、3年ぶりの釜利谷フェスティバルを行いました。

コロナ前の「釜フェス」は、見に行く教室を選んで、発表を見たり体験コーナーで活動したりできるワークショップ形式で行っていましたが、今回は特定のクラスの発表を見る形式のみで行いました。

発表1，2では各クラスA、Bのグループが、それぞれ1学年下の人たちを相手に発表を行いました。1年生は、6年生を相手に発表しました。発表3，4では、やはり1学年下（1年生は6年生）の人たちと、参観の保護者・地域の方々を相手に発表しました。

AB両グループとも、発表1，2と3，4でそれぞれ同じ発表を行ったのですが、発表3，4では観客が増えておうちの人も見ているということで緊張感があり、いっそう真剣さも加わっていたようです。

学年に応じて、学習の中で学んだことや身に付けた力、さらに学習の中で考えたこと、そこから調べたり活動したりして考えを広げ伝えたいと思ったことなどをもとにして、自分たちのやり方で発表をつくり上げていました。一人1台タブレットを使用していることもあり、写真や動画による発表が多く、視覚を通してわかりやすくしてありました。

学年によらず環境問題を取り上げている内容が見られ、未来の環境保全に対する問題意識の高さがうかがえました。この先も自分たちの暮らす地球を、持続・存続させていかなければならない、と考えて伝えているのがわかりました。

また、3年生が区音楽会の演奏を発表したり、学習してきたことを音読や劇など表現活動で発表したりと、身に付けた力を見ている人に伝える活動も行われていました。

観衆がいる中で、緊張感とともに発表をやり遂げることで身につく力があること、コロナ禍でその場が長く設定できていなかったことを実感しました。

